

## 令和3年度愛高会を開催いたしました

コロナ禍のため昨年度は開催を見送っておりました愛高会を2年ぶりにハイブリッド方式で令和3年8月29日（日）に開催いたしました。

初めての試みにもかかわらず、来賓として愛知県歯科医師会内堀典保会長、名古屋市歯科医師会都島誠一会長、愛知学院大学歯学部同窓会池山正仁会長をはじめ、現地での参加者30名、WEBでの参加者15名計45名の参加者を得て開催いたしました。

今回の学術講演会は、愛知県歯科医師会社会保険担当理事元木達也先生に「社会保険診療の理解のために」として講演いただきました。実際にこんな時の初診料はどう算定するかなど実例を挙げて分かりやすく説明頂きました。

また、母校の低迷する現状に鑑みて母校の復活・発展の一助とすべく会員各位の意見を伺うためアンケートを送付して、多くの先生方から返送頂きました。御助力に感謝申し上げます。その結果をもとに平岩慎次先生に司会をお願いし亀山洋一郎名誉教授をコメンテーターにお迎えして母校愛知学院に今我々は何をしなければならないのか—中学・高校・大学への提言—と題し、意見交換を行いました。

今回、愛知高校から他の歯学部に入學されて歯科医師として活躍している先生との連携を目的に、日本大学に行かれ刈谷市歯科医師会会長をされている宮田泰会長にご出席頂き、愛高会にご入会いただきました。今後は多くのこういった先生方に参加頂き、交流を深めたいと思います。



内堀典保先生



元木達也先生



宮田 泰先生